

東京大学文学部 社会心理学研究室

2018年度 卒業論文・特別演習

磯田 尚人	無党派に対する集団性の認知の検討	卒論
小住 希美夏	野生動物保護管理に対する態度を測定する尺度の開発	特演
苦米地 飛	自由意志信念とその関連信念が自己コントロールに与える影響	卒論
中村 美月	発達障害という告知がもたらす自己認知の変容	特演
松本 透	実験室での不遇な他者への利他分配課題における Motivation Crowding Out の再現と追加的検討	卒論
山本 竜太郎	総合的な探究の時間の評価と効果測定に関する提案 一島根県立大東高等学校における取り組み一	特演
安部 晃司	放射線災害地域の食品生産者に対する応援意図の規定因	卒論
井上 哲	熟議の規範的理論とその反照的均衡の可能性	卒論
岡部 佑也	周辺状況と、リーダーの表出する感情の違いによる、フォロワーのリーダーシップに対する評価の検討	卒論
北垣 友博	アドバイスの提示方法によるアルゴリズム回避への影響の検討	卒論
吉川 元	複数課題場面においてフィードバックが受け手のモチベーションに与える影響：暗黙理論に着目して	卒論
黒谷 雅哉	公共財ゲームの認識ごとの反社会罰が起こる要因の検討	卒論
小舟 溪	集団規範からの逸脱者に対する非難が生じる条件：多元的無知状態の規範に着目して	卒論
榊原 瑞清	第一印象はどう変化するか？：情報処理様式が反証事例の解釈に及ぼす影響	卒論
佐藤 あかり	居住地流動性が社会的援助行に与える影響	卒論
杉本 大斗	介護労働者の就業継続意向 一規定因の検討一	卒論
高橋 明德	犯罪被害者への非人間化が同情と援助意図に与える影響 一被害者はなぜ救われないのか一	卒論
柘植 絢香	情報の伝達場面で生じる透明性の錯覚の原因の検討:情報の送り手以外に着目して	卒論
仲村 友希	社会的ジレンマ状況における格差が協力行動に与える影響の検討	卒論
西 菜々子	死者は美化されるのか：親密な他者の死の想像が人物評価に及ぼす影響	卒論
西川 真澄	少年マンガのキャラクターに同一化する要因と同一化の影響について	卒論
長谷川 明紀	関係流動性・集団サイズと規範遵守行動との関係性	卒論
幅 勇介	男性による子育て休暇取得の規定因：職場・家庭・個人の観点から	卒論
増田 梨花	拒絶経験や知覚と回避行動、心の知覚の関係について	卒論
松浦 茜	集団規範に基づく自己評価と他者予測関する検討 一他者の「目」に着目して一	卒論
森本 日向子	代理出産と体外受精に対する人々の態度 一パターン別の検討一	卒論
安田 菜由	暗黙理論が課題対処方略の想起と感情に与える影響 一困難課題場面に注目して一	卒論
大沼 知己	情動性の喚起が事後情報効果に与える影響：事故現場の悲鳴は目撃者の記憶を変容させるのか	卒論